

公益社団法人 信和会 看護奨学生だより

2021年1月号

京都民医連あすかい病院 副院長・精神科医 近藤悟



2020年はコロナ一色で終わってしまった感じですが、皆さんの一年はどうでしたか。僕にとってはコロナによる変化も大きなインパクトでしたが、家族や自分が病気になる経験も印象に残りました。医療を受ける側に立ってみて分かること、多くは不満のようなものを感じて考えたことですが、とてもいい経験でした。嬉しいこともありました。父の担当の看護学生さんが、父の生活（農業）を聞き出して、家での療養の仕方・アドバイスを冊子にまとめてくれていました。病気がその人の生活や人生にどう影響するか？そういう視点を僕たちも大事にしていきたいですね。

公益社団法人信和会 看護部長 鴨川聡子



「明けましておめでとうございます。」

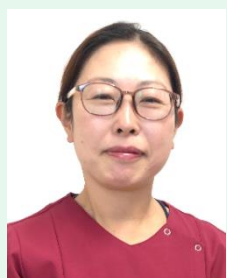
昨年は、新型コロナウイルスの流行にはじまり、終息を迎えぬまま年が明けました。今年の年明けに「明けましておめでとうございます」という言葉がふさわしいのかどうか迷いますが、改めて新年のご挨拶を申し上げたいと思います。全国の医療機関では、日常の医療を行いながら、新型コロナウイルスの対応に追われているのが現状です。当法人内でも病院をはじめ、診療所や訪問看護ステーション、介護事業所で様々な新型コロナウイルスの対応を行いながら、日常の医療介護を守ってきました。これからもしばらくの間は、感染対策の徹底が必要です。2月には看護師国家試験が予定されています。卒年生の方々が無事に看護師国家試験が受けられるために、周囲の方々にも感染対策にはくれぐれも気を付けていただきますよう、お願いいたします。

京都民医連あすかい病院 看護部長 征矢陽子



明けましておめでとうございます。昨年は、学ぶこと・働くこと・交流することなど、何に関しても今までの形を変化させていかなくはなりませんでしたね。皆さんは、体も心もいろんな面で体調を崩すことなく、新年を迎えることができましたでしょうか。医療現場も様々な対応を余儀なくされましたが、地域の方に必要な医療の提供を継続するために踏ん張ってきました。看護の世界に不安を感じている方もいると思いますが、正しい知識を持って命と向き合っていくパワーを持ち続けてください。そして、そのパワーで医療現場を元気にしてくれることを、首を長くして待っています。今年は、マスクをとったみんなの笑顔に会えるといいな・・・と、切に願う年始です。

京都民医連あすかい病院 副看護部長 谷淵未生



あすかい病院副看護部長の谷淵です。看護部の研修担当をしています。研修は、1～3年目・中堅さん、と分かれて行っています。1年目では技術研修が主です。移乗動作・酸素の扱い方や吸引など、実際に物品に触れて演習をします。また、「倫理」「災害時の対応」「医療・介護保険」については難しいですが大切なテーマなので、3年間を通して学びを深めています。新型コロナウイルスの影響で、授業がいつもどおりに進まず、不安な気持ちになっておられる奨学生も多いでしょう。研修担当者として、就職後のサポートをさせていただきます！ご安心ください！

法人・病院の取り組み

地域訪問に取り組みました！

新型コロナウイルス感染症の流行が長引いており、“外出控えで足腰が弱くなる” “人との交流と会話の機会が減る” など、地域の方々が健康を維持できない状況が続いています。

そのため、信和会に所属する各事業所では、地域の実態を把握するとともにできる支援を行う目的で、地域にお住いの患者さん宅への訪問行動を行っています。

11月3日、あすかい病院の職員と健康友の会員の計40名で、病院周辺・岡崎・上高野の3つの



地域を訪問し、108軒の患者さん宅を訪問、71名の方とお会いすることができました。

対話の中で、体調や困りごとなどないかを伺うとともに、署名へのご協力をお願いしました。

「症状が悪くなり娘との同居を考えている」「妻、義弟の介護で大変。今は頑張っているが今後は不安」などの声が出され、地域の患者さんが抱えている様々な実情を把握することができました。

お話を聞きする中で、専門家の相談や支援が必要と判断した場合は、情報を共有し対応していくこととしました。



上高野地域の訪問には院長も参加しました

※「健康友の会」とは、「健康で安心して住み続けられるまちづくり」をテーマに、地域に住まう人々の健康づくりや居場所づくり、ボランティア活動などに、病院と一緒に取り組んでいる団体です。

あすかい病院 キラっと看護

地域包括ケア病棟では、リハビリの一環として毎日2回集団体操をしています。

主にリハビリスタッフがっていますが、土日祝は看護師が担当し、継続的に取り組んでいます。そして、体操実施中に確認した患者さんがしっかり立っている状況や大きく声を出している状況を、その後の日常ケアに活かしています。



また、認知症ケアの一環としてネイルケアにも取り組んでいます。患者に好きな色を選んでもらうことで、女性だけでなく男性の方にも喜んでもらえています。

爪がきらきらしていると、職員とだけではなく患者さん同士のコミュニケーションが広がるとともに、まわりも明るい雰囲気になり、いい効果ばかりです！！

あすかい病院 往診センターの紹介

こんにちは。あすかい病院往診センター看護師長の國友孝子です。

あすかい病院往診センターは、常勤非常勤合わせ医師12名、看護師8名、事務3名、運転手3名。往診管理をしている患者さんは、2020年12月時点で390名を超えました。

往診エリアは、北は花園橋、南は四条（緩和ケア患者さんは五条）、西は河原町（緩和ケア患者さんは烏丸）、東は比叡山までの広い範囲を午前2～3コース、午後1～2コース、医師・看護師・運転手の3人組で診察へ回っています。「住み慣れた場所で暮らし続けたい思い」を支えるため、24時間365日様々な職種、事業所と連携をとり、『在宅支援チーム』として一丸になって支援を続けています。必ずいつかお会いできる日があります。共に思いを支える支援ができる日を楽しみにしています。

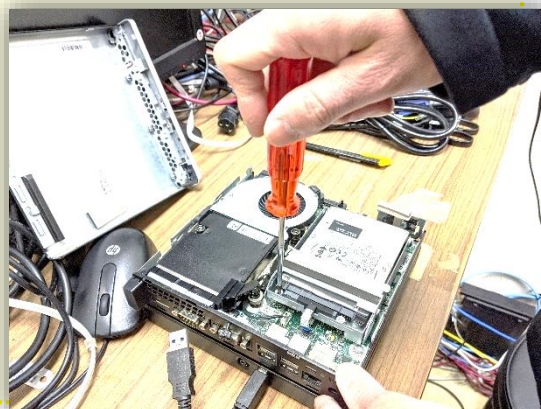


信和会 情報システム部の紹介

明けましておめでとうございます。公益社団法人信和会情報システム部です。当部では、職員2人で法人内全事業所のパソコン関連全般の管理、情報セキュリティ対策、IT技術の研究開発からリテラシー教育まで多岐にわたる業務を行っています。相談を受けることも多く、パソコンのお医者さんといわれたり工務店といわれたり…。医療機関ではまだまだ特異でマニアックな存在です。

新型コロナウイルスの影響で多忙な日々を送っていますが、民医連らしさをどのように情報システムへ落とし込むか悩みながらも、チーム医療の一員として患者さんや利用者さん、職員、地域の事を考え、最適解を目指して楽しく業務しています。

ルールを守って楽しく便利なITライフを！



【看護学生担当からのお知らせ】 今後のスケジュール紹介など（予定）

※変更になる場合もあります。

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| 4月 | 定期面接（全学年） |
| 4月10日（土） | 卒年のつどい（卒業年度の学生） |
| 7月～8月 | インターンシップ |
| 8月7日（土） | 午前：採用試験（卒業年度の学生）
午後：国試対策講座（県連企画） |
| 8月21日（土） | ENS |
| 8月28日（土） | 夏の奨学生のつどい（卒業年度以外の学生） |
| 11月 | 定期面接（全学年） |
| 12月 | インターンシップ |
| 12月4日（土） | 国試対策講座（県連企画） |
| 12月11or25日（土） | 冬の奨学生のつどい（全学年） |
| 3月 | インターンシップ |
| 3月11日（金） | 内定者のつどい（卒業年度の学生） |



ホームページ



Twitter



Instagram

〔連絡・問い合わせ先〕

京都民医連あすかい病院看護部師長室 075-712-9082

採用・学生担当 山際（副看護部長）・寺尾（事務）

メール egg nurse@shinwakai-min.jp



Facebook

フォロー
してね♪

